

あ と が き

平成29年3月、新学習指導要領が公示されました。これからの予測困難な世の中に主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の作り手となる力を身に付けられるようにするため、子供たちが身に付けるべき資質・能力や学ぶべき内容、学び方の見通しを示す「学びの地図」としての枠組みづくりがなされました。

その新学習指導要領においては、初めて『前文』がおかれしました。その中に、次のような一節があります。

「…学習指導要領が果たす役割の一つは、公の性質を有する学校における教育水準を全国的に確保することである。また、各学校がその特色を生かして創意工夫を重ね、長年にわたり積み重ねられてきた教育実践や学術研究の蓄積を生かしながら、児童(生徒)や地域の現状や課題を捉え、家庭や地域社会と協力して、学習指導要領を踏まえた教育活動の更なる充実を図っていくことも重要である。」

「東山梨教育研究」も昭和38年の初刊以来、56号を数えました。多くの諸先輩方が築き上げて来られた実践とその成果の上に立ち、目の前の子供たちや地域の現状や課題と向き合った中での私たちの教育活動は、まさに、先の記述の『教育実践や学術研究の蓄積』そのものであります。今後更に、教育活動の充実を図っていくためにも、この「東山梨教育研究」の果たす役割はますます重要なものとなることでしょう。

終わりにになりましたが、「東山梨教育研究・第56号」の発刊にあたり、お忙しい折に玉稿を賜りました甲州市教育委員会教育長様、並びに東山梨教育協議会会長様をはじめ、貴重な原稿を寄せられた諸先生方、また、山梨市、甲州市両教育委員会の財政面でのご援助に対し、心より感謝申し上げます。なお、本冊子の表紙は教育協議会「図工・美術部会」の古屋ゆか先生（勝沼小学校6学年小澤心さん作「ぼくの将来の夢」を使った作品）にお願いしました。ご協力ありがとうございました。

【編集実行委員会】

甲州市教育委員会教育長	保坂 一仁
東山梨教育協議会会長	廣瀬 文武
山梨市教育委員会教育長	市川 今朝則
峡東教育事務所副所長	竹川 和彦
峡東教育事務所指導主事	三森 公仁
山梨市教育委員会指導主事	倉田 憲一
甲州市教育委員会指導主事	那須 丈彦
東山梨教育協議会事務局次長	平山 直樹
東山梨教育協議会研究推進委員長	日野原 和貴
山梨支会研究推進委員長	向山 敢
山梨支会研究推進副委員長	若月 敬二郎
甲州支会研究推進委員長	天野 秀太郎
甲州支会研究推進副委員長	武藤 英紀

発行日	平成30年4月1日
発行責任者	東山梨教育研究 編集実行委員会
編集責任者	東山梨教育研究 編集実行委員会事務局
印刷所	昭和堂印刷